

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ



2024-25年度 国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック 「ロータリーのマジック」
 2024-25年度 第2570地区ガバナー 五十幡和彦 「入って良かったロータリー」
 2024-25年度 志木ロータリークラブ会長 三上隆俊 「更なるクラブの魅力を協創しよう」

第2420回 移動例会

2025-2-19

- ◎司会 國分 学 副会長
- ◎点鐘 三上 隆俊 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 末富 啓道 副SAA
- ◎四つのテスト 末富 啓道 副SAA
- ◎ゲスト 中村 和子 様
(志木おやこ劇場代表)



ソングリーダー・四つのテスト 末富啓道 副SAA

「会長挨拶」

会長 三上隆俊

皆様こんにちは。本日も多くの会員の皆様のご出席をいただきまして有難うございます。また、先週の第2グループのIMにも多くの皆様にご出席をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

今回のIM、ご出席下さった皆様にはどの様に映りましたでしょうか。決して肯定的な感想だけではなく、様々な感想をお持ちになったかと思えます。別の視点から見てみますと、内容の是非ではなく、ロータリークラブに対して自分なりの理想があるからこそ、感情が湧いてくることに気づかされるのでは

ないでしょうか。

さて、ご自身の抱く理想に沿うロータリーに、今はなっていると思えますか。

貴重なご縁で今があり、現状にアジャストしていくのか、変えていくのか、ご自身のお考え次第かと思えます。そして、ある意味ロータリーは社会の縮図の様にも思えてきます。

中国の思想家であり哲学者の孔子は「才ある者は、努力する者に勝てず。努力する者は、楽しむ者に勝てず。」という言葉を残しています。意味として平たく言えば、「苦しいことに耐えて嫌々やるより、楽しんでいる人の方が成果が出る」ということだそうです。

本日は、宮川慎太郎会員のイニシエーションスピーチです。

皆様もご経験をされています。入会当時を思い出してみてください。時間やお金、体力を費やしロータリーに向き合い、やるのであれば「ロータリーを学び、そして楽しんでいく」これこそが理想のように思えてはこないでしょうか。

2月は「平和構築と紛争予防月間」です

以上、会長挨拶というより自分自身への戒め、ご入会浅い会員の皆様へのエールとしてとらえていただければ幸いです。

「御礼・活動報告」

志木おやこ劇場代表 中村和子様



「幹事報告」

幹事 田中幸彦



1. 地区事務所より第9回日台親善会議札幌大会案内受信
日時：5月31日(土) 登録・友愛の広場 13:00～
会場：グランドメルキュール 札幌大通り公園
2. 米山記念奨学生終了式及び歓送会案内受信
日時：3月20日(木・祝) 受付 15:00～ 開会 15:30～
場所：アルカーサル迎賓館川越
内容：第1部 米山記念奨学生終了式
第2部 米山記念奨学生歓送会
登録料：5,000円
3. ハイライトよねやま Vol.299 2025年2月13日発行受信
4. ロータリー手帳の予約受付案内受信

「委員会報告」

●地区青少年プログラム アクト・ライラ委員会

地区委員 吉原 正



第17回 RYLADAY 開催報告

去る2月8日(土)、ウエスタ川越に於いて、RYLADAY (Rotary Youth Leadership Awards 青少年指導者養成プログラム) が開催されました。

テーマ「地域社会の中で、私たちにできること。」

なお、次回年次総会の会場は細田学園高等学校で、10月頃開催される予定です。

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌・R情報委員会 副委員長 林 康雄



『ロータリーの友』2月号記事紹介

【横組】

P7～17 「差別、闘い、そして未来への夢」
映画俳優・日系アメリカ人ジョージ・武井さんのインタビュー記事

P19～25 横浜で開催された「ロータリー研究会」

RI会長ステファニー A. アーチック来日

P31 Pick out project 深谷東RCのバザー、

第 2570 地区のスリーデーマーチの模様
P35 ガバナーのロータリーモメント「ポリ
オ根絶を、共に推し進めた地区会員」
第 2570 地区五十幡ガバナーの記事

【縦組】

P4～8 「言葉を守る テレビディレクター
の考える戦争」
NHK 沖縄放送局を退職後、映像ディレク
ター・作家として活躍されている渡辺考さ
んの IM 講演

「卓 話」

「イニシエーションスピーチ」

宮川慎太郎会員



皆様こんにちは。本日はイニシエーション
スピーチということで貴重なお時間をいただ
きありがとうございます。このような機会も
なかなかなく不慣れなものですから、お聞き
苦しい点は多々あるかと思いますが、寛大な
気持ちで受け入れていただければ幸いです。

今日の日程を聞いてから、気の休まらない
日々が続きました。どうぞ宜しくお願い致し
ます。

まずは改めて自己紹介をさせていただきます
す。1983年3月7日生まれ41歳。生まれも
育ちも志木市です。

前回の市長のお話でありましたが、志木市
在住の方の80%が外から来られたというお
話がありました。地元の方が少ないとは思っ
ておりましたが、そこまでとは思いませんで
した。私はその20%に属します。

家族構成は父・母・妹・妻の5人家族です。

父は健康でおりますが、地域の活動にはほ
とんど参加してこなかったの、なかなか皆
さんとお話する機会は少なかったのかなと思
います。

母も健康でおりますが、法人会や商工会の
女性部でお世話になっておりまして、9年前
に病気をしたときも多くの方にご迷惑をおか
けしましたが、國分さんの奥様や木下さん
のお母様にはそのときから大変お世話になっ
たようで、感謝しております。今では運転も
できるようになり完全に復活することができ
ました。

妹は私の2歳下になります。

私は昨年1月22日に入籍しまして、ち
ょうど1年が過ぎたところです。独身生活が
長かったのでなかなか慣れない部分もあり
ますが、新しい生活を楽しんでいます。

散々飲みに行つて、暴飲暴食をしており
ましたが、結婚してから抑えられています。

趣味は音楽、楽器演奏です。ドラムを叩
きます。大学生時代は自分達で曲を作って、
下北沢や吉祥寺、渋谷、新宿、高円寺等の
ライブハウスでライブ活動をしていました。
今でもあります、フジロックやサマーソニッ
クという大きな野外音楽FESがあります。そ
こにはアマチュアが出演できるステージ
があり、そこに出演することを目指して活
動をしていました。とはいえメンバー皆、
プロを目指していたわけではないので卒業
して仕事をしながら音楽活動をしていま
した。

結局は夢のまま終わってしまいましたが、
いくつかの予選は突破したりレコード会社
からお声をいただいたりすることはありま
した。次第に皆、仕事や結婚で環境も変
わり活動もしづらくなってきて解散して
しまいました。

志木市商工会青年部に入部してからも、
西川さんに誘われて演奏する機会をいた
だきました。高校3年生から始めて、機
会は減ったものの今でも楽器に触ること
ができるのはとてもありがたいことです。

もう1つの趣味はゴルフです。コロナが流行っていた頃に始めました。もともと断り続けていたのですが、いざ始めてみると楽しくてはまってしまいました。また、ゴルフを始めたことで交流の幅が広がりました。

お誘いいただく機会も増え、とても感謝しております。ロータリーも上手な先輩方が多いので機会があれば是非お誘いいただけたら嬉しいです。

小学生、中学時代はかなりおとなしい性格だったと思います。

中学は天体観測部に入部してときどき星を観測していました。

高校3年間は柔道部に所属しました。高校行ったら運動したいと思っていたのと、やったことのない事をしたいと思い入部しました。今では柔道をやっていてよかったと思える程、充実した高校生活を送ることが出来ました。結局、柔道2段まで取ることが出来ました。引退してからも柔道をやりたいと、一時期朝霞の柔道場に通っていたことがありました。

また、引退と同時に音楽にハマり楽器演奏を始めました。大学へ進み、軽音サークルに入り、ひたすらバンド活動をしていました。

大学生活は授業よりもアルバイトとサークル活動と麻雀に没頭しました。お陰で大学は1年半、留年して卒業しました。

大学卒業後、不動産会社に3年程、勤務致しました。マンション建築の営業で飛び込み営業の毎日でした。その後、地元に戻り、株式会社みやかわに入社しました。

会社の沿革について話をしたいと思います。

私自身、今まで過去のことを調べたこともなかったのですが、この機会に色々と調べてみました。

・大正14年(1925年)7月 初代、宮川虎之輔 がみやかわ書店を設立

私のひいお爺さんです。志木市本町1丁目で小さい小屋のようなお店で始めたと聞いたことがあります。ちなみにさらに前は酒屋さ

んだったと聞いたことがあります。

・昭和19年(1944年)12月 宮川慶一が社長に就任

私の祖父です。私が生まれたときには亡くなっていたので面識はありません。

・昭和27年(1952年)12月 法人組織に改め、有限会社みやかわ書店とする

・昭和42年(1967年)4月 株式会社みやかわとする

・昭和52年(1977年)7月 宮川清一が社長に就任

父は24歳のときに祖父が亡くなり社長を引き継いだと聞いております。当時、業界の集まりで挨拶をしている途中で倒れて、そのまま亡くなったと聞いています。

・令和3年(2021年)9月 宮川慎太郎が社長に就任

私は4代目ということになります。

私の幼少期は本町1丁目にあった書店の上に住んでおりました。

公文教室や書道教室を開講している隣と3階が住居という変わった造りでした。当時は事務所も併設していたので、両親は常に仕事と隣り合わせの状況でした。私が小学4年生の頃、本町5丁目に引っ越しをしました。同時に手狭になった営業事務所も中宗岡に移転しております。

皆さんもご存知のように書店業界も厳しい状況が続いております。

全国的にも10年前は2万店あった店舗が今は1万店まで減少しています。

弊社も現在店舗は全て閉めてしまいましたが、ピーク時は6店舗営業していました。懐かしいお店だと志木にあったダイエーの中にも出店していたこともありました。柳瀬川のペアモール、和光市のサミットの中にも出店していたことがあります。幼少期の遊び場になっていた記憶が残っています。

現在は事務用品、事務機器、OA機器、学校教科書の販売をメインにしております。

官公庁、民間企業、自衛隊、学校等、少しずつ範囲を広げてはおりますが厳しい状況は続いております。

そんな状況を打開するために、今まで通りの商材だけでなく家電製品や、最近カーテン関係の設置業務をスタートし始めました。

今までの本屋文具屋から何でも屋になるべく様々な商材や可能性を追いかけていたいと思っております。

厳しいながらも会社を存続し、働いてもらっている従業員の幸福度を少しでも上げることができるよう頑張っていきたいと思いません。法人組織にしてからは 73 期目になりますが、創立してからはちょうど 100 年目になります！ 今後も地域密着で志木市にも貢献できるように日々精進して参ります。

私が活動してきた地域活動についてお話します。

メインで活動していたのは、志木市商工会青年部になります。26 歳のときに地元に戻ったときに、西川さんと高野さんに誘われて入会しました。当時、中学から外に出てしまった私は、地元の繋がりが全くなく、志木市のことすらほとんどわからない状況でした。街のことを知りたい、仲間を増やしたいという思いで参加していました。

入部して 4 年目で委員長を任されました。

当時は委員会の中では私が最年少だったのもあり、何でも自分がやらなければという思いで、常にいっぱいいっぱいになっていました。いろいろ迷惑をかけたところもあったと思いますが、多くのメンバーの協力をいただいて乗り切ることができました。

その後、副部長や専務の役職を任せていただいて、昨年青年部を卒業しました。

これだけ多くの皆さんと知り合うきっかけになった青年部にはとても感謝しております。

仕事だけでなく地元で暮らしていく楽しみを作ってもらえることが出来ました。

他には、雇用対策協議会、安全運転管理者

協会、保安防火安全協会、志木市市政施行 50 周年記念特別室など参加しております。

これからもロータリアンとして末永く活動できるように努力して参ります。

(※紙面の都合により、要約させていただきました)



スマイル・田幸御加副SAA



出席・坂間智子委員

●出席報告 出席向上委員 坂間智子

会員数51名	出席義務者48名	免除者3名
本日出席 45名	本日欠席 6名	本日出席率 90.00%
前々回 MU (10名中3名)	前々回修正出席率 88.00%	平均出席率 81.49%

志木ロータリークラブ会報アーカイヴ

2008年2月6日(宮原克平会長年度)
第1757回例会会報より再録

「R情報スピーチ」

高橋義男会員

小諸 RC との姉妹クラブ締結について

志木 RC が創立 3 周年を迎える時のことです。三役は神山秀三郎会長、井下田慶一郎副会長、中林光哉幹事でした。我が RC 誕生時の特別代表は朝霞 RC の綿谷廣光さんでした。同代表は折にふれ志木 RC を訪問され、色々とアドバイスを頂きました。何しろまだ 3 年目ですので、全員がこまかい事はよく理解できていませんでした。



そんな時、特別代表が見えられ、朝霞 RC では台湾の宜蘭 RC と姉妹クラブを結ぶので、志木 RC もよろしかったらどうぞ、とい

うお誘いのお話がありました。そこで理事会が開かれましたが、神山会長は海外 RC と結んでもそう行き来が出来るかどうか、それよりも国内 RC と締結の方がよいのでは、という発言がありました。大方の理事も国内 RC にしようという事で一致しました。ではどこの RC にするかが大変難題でした。そういう状態でしたが、埼玉銀行志木支店長の久保さんが小諸 RC は如何ですかという提案がありました。これについては中林幹事が大変お骨折りをされました。小諸 RC は歴史的にすぐれ、又小諸は名所旧跡、温泉もあるということでした。

締結については一方的に志木 RC から小諸 RC に申し入れ、承認を取り付けました。締結日は 1974 年(昭和 49 年)10 月 25 日でした。決め事は、毎年交互に相手クラブを訪問し、親睦を深めるという事でした。これは志木 RC 創立 9 年まで続きましたが、10 年目からは周年事業毎に訪問しあうという風になり、今日まで続いております。

Shiki Weekly Archive